

授業科目	簿記入門				単位	2		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	EN21403J		
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP4-3			
担当教員	梅田 勝利							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>本授業は、実務家教員の授業として、学生が社会的・職業的自立を図れるように、自身の企業で簿記作業を行った体験に基づき、ビジネスパーソンにとって必要不可欠である、複式簿記の知識の習得を目的とする。本授業では、複式簿記の構造、財務諸表の内容と作成方法、期中取引の処理について理解する。</p> <p>前半では、複式簿記の構造、財務諸表の内容、勘定科目の内容について説明する。これによって、複式簿記の構造に関する総論的な基本的知識を得ることができる。</p> <p>後半では、期中取引の処理について説明する。これによって、財務諸表の作成準備ができるとともに、複式簿記の構造について理解することができる。</p> <p>また、日商簿記検定初級の出題範囲を網羅していることから、それについて解答することができる。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 複式簿記の構造について、説明することができる。</li> <li>2. 会計処理のルールとその考え方について、具体的に述べることができる。</li> <li>3. 財務諸表について、正確に作成することができる。</li> <li>4. 期中取引に関する具体的な会計処理について、正確に行うことができる。</li> <li>5. 簿記一巡の手続について、説明することができる。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	50	50	0	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)	50	50					100	
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 複式簿記の構造について、説明することができる。</li> <li>2. 会計処理のルールとその考え方について、具体的に述べる ことができる。</li> <li>3. 財務諸表について、正確に作成することができる。</li> <li>4. 期中取引に関する具体的な会計処理について、正確に 行うことができる。</li> <li>5. 簿記一巡の手続について、説明することができる。</li> </ol>				<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 複式簿記の構造について、説明することができる。</li> <li>2. 会計処理のルールとその考え方について、具体的に述べる ことができる。</li> <li>3. 期中取引に関する具体的な会計処理について、正確に行う ことができる。</li> </ol>				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	ガイダンス・シラバスの説明	講義	シラバスを熟読する。	60・60
2	簿記の基礎概念	講義	予習:テキスト p.3 の事前学習を解く。 復習:テキスト p.8 の事後学習を解く。勘定科目を覚える。	60・60
3	取引と勘定の意義	講義 小テスト	予習:テキスト p.10 の事前学習を解く。 復習:テキスト p.16 の事後学習を解く。勘定科目を覚える。	60・60
4	資産・負債・資本(純資産)と貸借対照表	講義	予習:テキスト p.18 の事前学習を解く。 復習:テキスト p.24 の事後学習を解く。勘定科目を覚える。	60・60
5	収益・費用と損益計算書	講義	予習:テキスト p.26 の事前学習を解く。 復習:テキスト p.31 の事後学習を解く。勘定科目を覚える。	60・60
6	仕訳と転記	講義 小テスト	予習:テキスト p.33 の事前学習を解く。 復習:テキスト p.39 の事後学習を解く。勘定科目を覚える。	60・60
7	仕訳帳と総勘定元帳	講義	予習:テキスト p.42 の事前学習を解く。 復習:テキスト p.48 の事後学習を解く。勘定科目を覚える。	60・60
8	現金・預金	講義	予習:テキスト p.51 の事前学習を解く。 復習:テキスト p.59 の事後学習を解く。勘定科目を覚える。	60・60
9	商品売買	講義 小テスト	予習:テキスト p.61 の事前学習を解く。 復習:テキスト p.65 の事後学習を解く。勘定科目を覚える。	60・60
10	売掛金と買掛金	講義	予習:テキスト p.79 の事前学習を解く。 復習:テキスト p.87 の事後学習を解く。勘定科目を覚える。	60・60
11	その他の債権と債務	講義	予習:テキスト p.97 の事前学習を解く。 復習:テキスト p.104 の事後学習を解く。勘定科目を覚える。	60・60
12	有形固定資産	講義 小テスト	予習:テキスト p.107 の事前学習を解く。 復習:テキスト p.111 の事後学習を解く。勘定科目を覚える。	60・60
13	資本金と利益剰余金	講義	予習:テキスト p.115 の事前学習を解く。 復習:テキスト p.121 の事後学習を解く。勘定科目を覚える。	60・60

14	税金	講義 小テスト	予習:テキスト p.122 の事前学習を解く。 復習:テキスト p.127 の事後学習を解く。勘定科目を覚える。	60・60
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	複式簿記は、聴講だけでは習得できず、実際に手を動かして、なぜその会計処理をするのかについて、その理由を理解することによって、習得することができる。			
テキスト	篠原淳・古市承治・梅田勝利編「現代の簿記論」税務経理協会、2021年。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	必要に応じて随時紹介する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	次の2点の理解に努め、仕訳をできるようにすること。 1. 勘定科目とその内容 2. 取引要素の結合関係の内容			

達成度評価に関するコメント	小テストをすべて受験・解答するとともに、授業中に積極的に参加し、最終到達度として、試験において、複式簿記の構造と期中取引の処理について、解答できるようになれば 100 点。
---------------	--